「世界の痛風治療薬市場2022年－2031年：薬剤タイプ別（NSAIDS、コルヒチン、コルチコステロイド、尿酸低下薬、生物製剤）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年9月6日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の痛風治療薬市場2022年－2031年：薬剤タイプ別（NSAIDS、コルヒチン、コルチコステロイド、尿酸低下薬、生物製剤）」調査資料の販売を2022年9月6日
に開始いたしました。痛風治療薬市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界の痛風治療薬市場2022年－2031年：薬剤タイプ別（NSAIDS、コルヒチン、コルチコステロイド、尿酸低下薬、生物製剤）
■英文タイトル：Gout Therapeutics Market （Drug Type: NSAIDS, Colchicine, Corticosteroids, Urate-lowering Drugs, and Biologics） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年8月30日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
痛風は、遠位関節および末梢組織へのナトリウム結晶（MSU）の沈着によって引き起こされる炎症性関節炎です。痛風は一般的な炎症性関節炎であり、強い痛みを伴います。通常、一度に1つの関節（多くは外反母趾の関節）が侵されます。痛風には、症状が悪化する時期（フレア）と、症状がない時期（寛解）があります。
痛風は一般的で複雑な関節炎であり、誰もが罹患する可能性があります。痛風は、突然の激しい

痛み、腫れ、赤み、圧痛を伴う発作が一つまたは複数の関節（多くは外反母趾）に発生するのが特徴です。通常、女性よりも男性に早く発症します。一般に、女性では閉経後に発症します。男性は、尿酸値が高いため、女性よりも3倍以上発症しやすいと言われています。女性は閉経後にこの尿酸値に達します。
痛風の治療法は存在します。しかし、治療はそれぞれの人に合わせて行う必要があります。腎臓の機能、他の健康問題、個人の好み、その他の要因によって治療法の選択は異なります。痛風になりやすい血中尿酸値の上昇を抑えるために、薬物療法が必要になる場合もあります。時間が経つにつれて、血液中の尿酸値が上昇し、関節やその周辺に尿酸塩結晶が沈着する可能性があります。この結晶は白血球を引き寄せ、激しい痛みを伴う痛風発作や慢性関節炎を引き起こす可能性があります。

痛風は、最も一般的なタイプの炎症性関節症です。いくつかの研究によると、過去数十年の間にその有病率と発生率が増加しています。高尿酸血症、遺伝的要因、食事要因、飲酒、メタボリックシンドローム、高血圧、肥満、利尿剤の使用、慢性腎臓病などが痛風発症の危険因子とされています。
いくつかの研究により、プライマリケアにおける痛風管理は最適とは言えず、臨床的に重要な症状を持つ痛風の有病率上昇に寄与している可能性が示されています。英国やドイツでは、痛風患者には肥満、糖尿病、高血圧が多いことが判明しています。また、年齢も危険因子であり、人口の高齢化は痛風の発生率を増加させると考えられます。痛風の複雑な症例、特に二次性痛風は病院での診療でより一般的になってきており、進行した慢性腎臓病の有病率の上昇、利尿剤や腎毒性薬剤の使用は、世界の痛風治療薬市場規模を押し上げる可能性があります。
痛風の発生率および有病率は年齢とともに増加し、80歳以上では有病率が11%～13%、発生率が0.4%に達します。痛風は、米国、ニュージーランドの森、漢民族、アジア太平洋地域の一部の民族の少数民族に多く見られます。

薬剤の種類別では、2021年に非ステロイド性抗炎症薬（NSAIDs）セグメントが痛風治療薬市場で最大のシェアを占めています。NSAIDsはアスピリンに似た薬で、関節やその他の組織の炎症や痛みを抑えることができます。インドメタシン（インドシン）やナプロキセン（ナプロシン）などのNSAIDsは、痛風の急性発作の大部分に選択される治療法となっています。あるNSAIDが他のNSAIDより優れているという証拠はありません。短時間作用型のNSAIDsを大量に服用することで、最も早く症状を緩和することができます。これらの薬は胃の不調、潰瘍、下痢を引き起こす可能性がありますが、短期間の使用であれば、ほとんどの人がよく耐えています。
尿酸降下薬は痛風関節炎の対症療法として、第一選択薬として、あるいは併用療法として利用されます。米国では、200万人以上の方が血清尿酸値を下げるために薬を服用していると推定されています。また、痛風治療薬市場において、生物製剤と比較して尿酸降下薬が慢性または急性の痛風疾患に苦しむ人々の治療に浸透していることが、抗高尿酸薬（尿酸降下薬）セグメントの推進力となっています。

販売チャネル別では、2021年の痛風治療薬世界市場において、病院薬局セグメントが圧倒的なシェアを占めると予測されます。同セグメントは2022年から2031年にかけて大きく成長すると予測されています。病院薬局は、予測期間中、市場シェアで2番目に大きなセグメントとなると予測されます。このセグメントの大きな市場シェアは、薬剤の購入に病院薬局を必要とする中等度から重度の痛風関節炎を持つ高齢者人口の増加に起因しています。
オンライン薬局は、予測期間中に急速な成長を遂げると思われます。オンライン薬局の増加や、医薬品・ヘルスケア市場に浸透するために医療用市販薬としていくつかの痛風治療薬が受け入れられていることが、オンライン薬局セグメントを拡大させると予測されます。

2021年の痛風治療薬の世界市場において、北米が最大のシェアを占めています。同地域は、市場

魅力度指数が高く、予測期間中に非常に有利な市場になると予測されます。米国における痛風の罹患率の上昇と併存疾患の負担増が、予測期間中に同地域の市場を促進すると思われます。痛風は、同国において最も一般的な炎症性関節炎です。いくつかの研究により、ここ数十年の間に有病率が増加していることが示されています。痛風患者は900万人以上おり、過去20年間でその3分の1近くが経口尿酸降下薬で治療を受けています。また、痛風に関連した障害を持つ人々の数は、過去数年間で急増しています。
アジア太平洋地域の市場は、2022年から2031年にかけて急成長すると予想されています。同地域では痛風の発生率および有病率が着実に増加しており、痛風診断および痛風治療に関する研究開発活動が活発化しています。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/gout-therapeutics-market-drug-type-nsaids-colchicine/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com